

産地パワーアップ事業の取組

(群馬県)

取組の概要

取組の概要 : 共同機械野菜選果施設等の整備による果菜類の産地振興
計画作成主体 : 前橋市農業再生協議会
対象品目 : きゅうり、なす (産地面積85.9ha)
主な取組主体 : 前橋市農業協同組合、きゅうり・なす生産者
成果目標 : 販売額15%以上増加 (総販売額)
助成金の活用 : 整備事業 (集出荷貯蔵施設・生産技術高度化施設)

ポイント

共同機械野菜選果施設の導入による選果選別労働時間の縮減により、適期の栽培管理や新技術導入が可能になるとともに、低コスト耐候性ハウスの整備により面積拡大や反収向上が図られ、販売額15%以上の増加を実現。

- 共同機械野菜選果施設の整備
- きゅうりでは汁液診断や環境制御、なすでは4本切り戻しやV字仕立て技術を導入
- 低コスト耐候性ハウスの整備

地区の概要



群馬県 前橋市
JA前橋市 他

産地の現状と目標

〈現状〉

作付面積 : 85.9ha (出荷数量 : 7,325t)
販売額 : 23.1億円
個選共販 (農業者が選別)

〈目標〉

作付面積 : 95.2ha (出荷数量 : 8,500t)
販売額 : 26.7億円
共選共販 (選果施設で選別)、低コスト耐候性ハウス整備



推進体制

地域の関係者(前橋市、前橋市農業協同組合、群馬県中部農業事務所)が一体となり、事業を推進

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 新技術として、きゅうりでは汁液診断や環境制御を行い、適切な肥培管理や作物に適した環境にすることにより、単収を増加させる。
- なすでは4本切り戻しやV字仕立て技術を行い、葉かきを適時行うことにより、単収を増加させる。

事業効果

- 個選共販から共選共販に移行することで、出荷物の均一化を図り、市場評価を高め、販路拡大を図る。
- 縮減した選果選別にかかる労働時間を、適期の栽培管理や新技術導入に費やすことで、栽培面積の拡大や単収向上が図られる。
- 単位面積当たりの販売額が特に高いきゅうり、なす(地域の主要6品目中1位、3位)の販売額を15%以上増加させる。

～きゅうり及びなすの販売額～

